がんばってます Vol.55

婦人科



婦人科
玉田（たまだ）　裕（ゆたか）医師

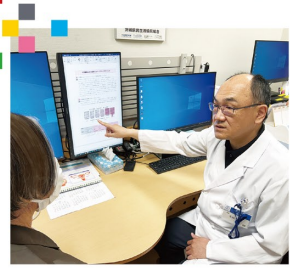
日々頑張っている仲間たちの姿を通して友愛記念病院を紹介するこのコーナー。
第55回の今回は、婦人科にスポットを当てました。

Q 婦人科は、どんな病気を診る科ですか？

A 婦人科は、子宮や卵巣に関係する病気、あるいは生理（月経）に関する相談に対応しています。具体的には、良性・悪性の腫瘍をはじめ、月経前症候群（PMS）、月経不順、子宮内膜症などの診断や治療を行います。

Q 友愛記念病院の婦人科の特徴は？

A 常勤医は私だけですが、非常勤の医師が５名在籍しています。全員が専門医で、そのうち2名は女性医師です。月曜から土曜日まで毎日、外来を行っているので、平日の受診が難しい方でも利用しやすい体制になっています。また、以前は入院・手術には対応していませんでしたが、私が今年の春に常勤医として赴任したことで、それが可能となり、より充実した体制になりました。



Q 婦人科か内科で迷ったら？

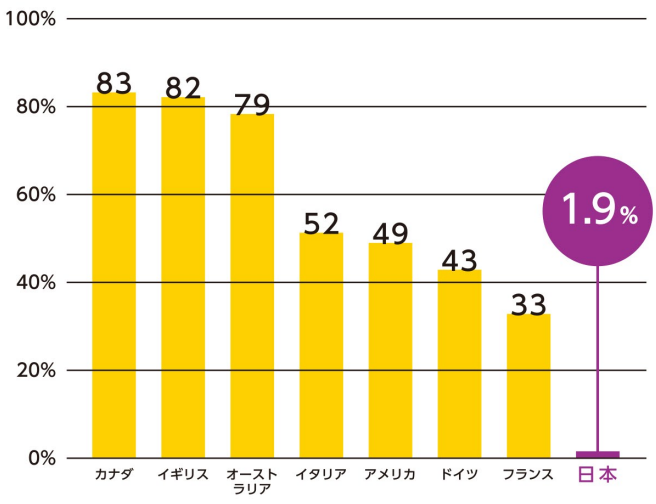
A 閉経前の方でしたら、まずは婦人科を受診されるとよいでしょう。

Q 予防できる婦人科系の病気はありますか？

A 代表的なものに、ヒトパピローマウイルス（HPV）のワクチン接種による子宮頸がん予防があります。中学1年生から高校1年生の間に接種することで100％に近い確率で子宮頸がんを予防できることが、複数の論文で報告されています。当院婦人科でも接種を行っており、対象年齢（※）の方は無料で受けることができます。

※年度中に12歳から16歳になる女性

HPVワクチンを接種した女子の割合（2019年）



参考 https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202205_00001.html

日本のHPVワクチン接種率は他の先進国に比べて低い水準にあり、子宮頸がんで亡くなる人の率は他の国よりも高いレベルになっています。こうした状況を改善するために、厚生労働省もHPVワクチンの接種を奨めています。